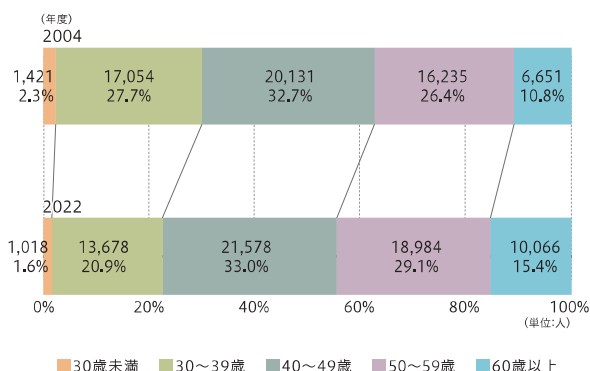


6. 教職員

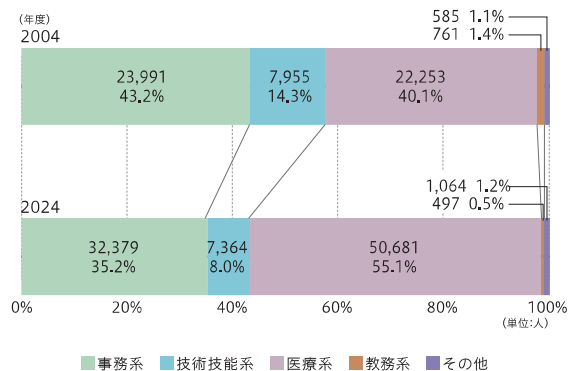
一人ひとりの果たす役割が大学を支える

2004年の法人化以降、若手（40歳未満）の教員比率が減少し（6-1）、外国人教員の割合は国立大学において2倍となり、半数がアジアからの受け入れである（6-3、6-4）。職員においては、附属病院の業務拡大等により医療系職員の比率が大幅に増加している（6-2）。また、クロスアポイントメント制度の活用促進やURAの配置が進み、人事改革が進められている（6-5、6-6）。

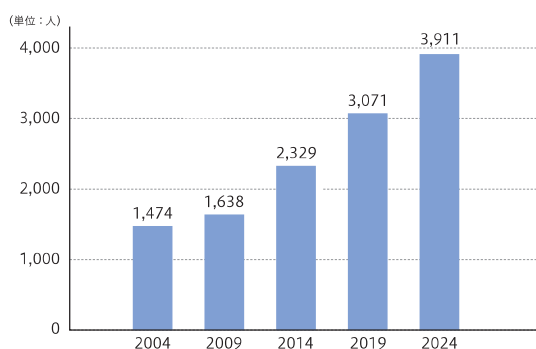
6-1 国立大学の教員数（年齢別）



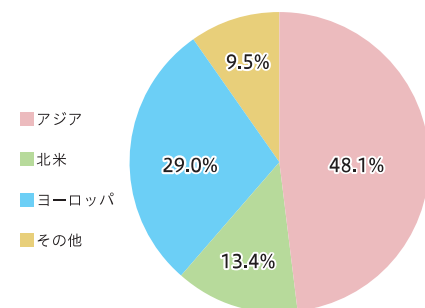
6-2 国立大学の職員数（職務別）



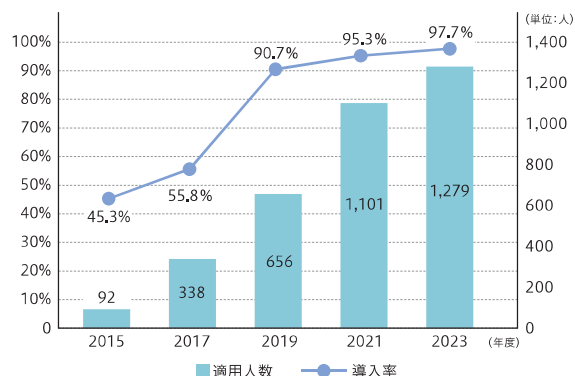
6-3 国立大学における外国人教員数



6-4 世界の地域別受け入れ教員割合（短期・中・長期）



6-5 国立大学等におけるクロスアポイントメント制度実施状況



6-6 国立大学のURAの配置状況

